

科目	財務会計Ⅰ	単位数	3	履修学年・クラス（講座）	2年商業科
使用教科書	新財務会計Ⅰ 新訂版（実教出版）				
補助教材等	最新段階式 簿記検定問題集 全商1級会計 改訂版				

### 1 学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。

(3) 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

- ・会計処理を行う場面を想定し、会計処理や財務諸表の作成と分析に取り組む実践的・な学習活動を通じて、市場の動きを読み解く力を身に付けていく。
- ・欠席せず、毎日の授業時間を大切にすること。

### 3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	財務会計に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役立つ実務に即した知識と技術を身に付けるようにする。	唯一絶対の答えがないことの多い経済社会にあって、財務会計をはじめとした様々な知識、技術などを活用し、企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務に適用することに伴う課題を見い出すとともに、会計情報が社会に及ぼす影響を踏まえ、財務会計に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく課題に対応する力及び財務指標を組み合わせることで企業の実態を総合的に分析する力を養う。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら財務会計について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、適正な会計処理、財務諸表の作成と分析などによる会計情報の提供と効果的な活用に責任をもって取り組む態度を養う。
主な評価方法	・定期テスト	・グループワーク ・発言等	・授業態度 ・提出物

#### 4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

0	単 元	時 数	学 習 内 容	評 価 規 準
4	第1編 財務会計の基礎 第1章 企業と会計 第2章 企業会計制度と会計法規 第2編 貸借対照表 第3章 貸借対照表のあらまし 第4章 資産の意味・分類・評価	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業会計の意味と役割について理解する。</li> <li>・企業会計原則の意味を明らかにし、一般原則及び重要性の原則について理解し、財務諸表の種類を明らかにする。</li> <li>・営業循環基準と1年基準の意味および、それらの基準の適用資産について理解する。</li> <li>・資産の評価の意味と損益計算との関係について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計の意味や機能について正しく理解しているか。(a)</li> <li>・会計法規の種類や目的について、どのようなものが正しく理解しているか。説明できるか。(b)</li> <li>・資産の分類の仕方について、営業循環基準と1年基準を用いて説明できるか。(b)</li> <li>・貸借対照表の役割と区分・様式について、正しく理解しているか。(a)</li> </ul>
5	第5章 流動資産PART1当座資産 第6章 流動資産PART2 棚卸資産・その他の流動資産	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当座資産・棚卸資産・その他の流動資産の意味および種類を理解する。また、期末評価の処理を習得し、貸借対照表に表記する。</li> <li>・棚卸資産の取得原価と費用配分の原則について理解し、棚卸資産の払出価額と期末棚卸高の計算方法を習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当座資産・棚卸資産・その他の流動資産の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。(a)</li> <li>・棚卸資産の期末評価の種類と方法について、説明できるか(b)</li> <li>・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。(c)</li> </ul>
6	第7章 固定資産PART 1 有形固定資産 第8章 固定資産PART 2 無形固定資産 第9章 固定資産PART 3 投資その他の資産 第10章 負債の意味と分類	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形固定資産、無形固定資産、投資その他の資産の意味と種類を理解する。</li> <li>・ファイナンス・リース取引について理解する。</li> <li>・無形固定資産の取得原価の計算方法を習得する。</li> <li>・投資その他の資産の期末評価の処理を理解する。</li> <li>・負債の意味・分類について、基礎的知識を習得させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形固定資産・無形固定資産・投資その他の資産の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。(a)</li> <li>・減価償却を行う理由と、計算方法の違いについて説明できるか。またリース取引の概略について説明できるか。(b)</li> <li>・負債とはどのようなものか正しく理解しているか(a)</li> <li>・営業循環基準と1年基準を区別できるか。(b)</li> </ul>
7 8	第11章 流動負債 第12章 固定負債	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流動負債の各項目の内容を正確に習得する。</li> <li>・流動負債に属する引当金を理解する。</li> <li>・固定負債の各項目の内容を正確に習得する。</li> <li>・長期借入金とリース債務について、1年以内に返済・支払いが行われる部分の処理を習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流動負債の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。(a)</li> <li>・未払金と未払費用、前受金と前受収益の違いを説明できるか。引当金の性質と種類について説明できるか。(b)</li> <li>・固定負債がどのようなものか説明できるか。(b)</li> </ul>
9	第13章 純資産の意味と分類 第14章 資本金 第15章 資本剰余金 第16章 利益剰余金	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・純資産の意味・株式会社の資本金・資本剰余金・利益剰余金の分類を明らかにする。</li> <li>・会社の合併の意味とその処理を理解する。</li> <li>・任意積立金の内容と処理方法を習得する。</li> <li>・繰越利益剰余金の内容とその処理方法を習得する。</li> <li>・剰余金の配当の意味とその処理方法を習得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・純資産・資本金・資本剰余金・利益剰余金とはどのようなものか、正しく理解しているか。(a)</li> <li>・会社の合併について、説明できるか。(b)</li> <li>・利益剰余金の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> <li>・剰余金の配当の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。(a)</li> </ul>
10	第17章 自己株式 第18章 新株予約権 第19章 貸借対照表の作成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己株式・新株予約権の意味を理解する。</li> <li>・貸借対照表作成上の諸原則を明らかにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己株式・新株予約権の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。(a)</li> </ul>

	第3編 損益計算書 第20章 損益計算書あらし 第21章 損益計算書の意味と基準	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かにし、その作成方法を習得する。</li> <li>・損益計算の意味と二つの計算方法（財産法と損益法）について十分理解する。</li> <li>・収益・費用の計上時期を定める三つの認識基準（現金主義・発生主義・実現主義）、また測定基準について理解する。</li> <li>・費用収益対応の原則の役割について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告式の貸借対照表の作成方法について、正しく理解し、積極的に問題に取り組んでいるか。</li> <li>(a)(c)</li> <li>・損益計算書の役割と区分・様式を正しく理解しているか。(a)</li> <li>・損益計算の意味と基準について、考え、自ら進んで学習する態度を示しているか。(b)(c)</li> </ul>
11	第22章 売上高 第23章 売上原価、販売費及び一般管理費 第24章 営業外費用・営業外収益 第25章 特別利益・特別損失	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高・売上原価・販売費及び一般管理費の意味を理解する。</li> <li>・売上高の計上基準と、それらに基づいた会計処理を理解する。</li> <li>・売上総利益、営業利益の意味と計算方法を理解する。</li> <li>・経常的な損益のうち、主として財務活動から生じる営業外収益・営業外費用の内容を明らかにし、経常損益の概念を理解する。</li> <li>・当期純利益の概念を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> <li>・工事収益の計上基準と計算方法について、正しく理解しているか。(a)</li> <li>・営業外収益と営業外費用の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。(a)</li> <li>・特別利益と特別損失の意味を理解とともに、当期純利益の概念を正しく理解しているか。(a)</li> </ul>
12	第26章 損益計算書の作成 第27章 その他の財務諸表 第4編 その他の会計処理 第28章 役員収益・役員原価	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・損益計算書作成上の諸原則を明らかにし、その作成方法を習得する。</li> <li>・株主資本等変動計算書の意味とその作成方法を習得する。</li> <li>・役員収益・役員原価の意味を理解する。</li> <li>・商品の販売とサービスの提供の違いについて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告式の損益計算書の作成方法について、正しく理解しているか(a)</li> <li>・貸借対照表と損益計算書以外の財務諸表がなぜ必要か、説明できるか。(b)</li> <li>・どのようなサービスを提供し、どのように会計処理を行っているかに興味を持っているか(c)</li> </ul>
1 2 3	第29章 外貨建取引 第30章 税効果会計  第5編 財務諸表の活用 第31章 財務諸表のディスクリージャー 第32章 財務諸表分析 第33章 連結財務諸表のあらし 第34章 連結財務諸表の作成	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外貨建取引の意味を理解する。</li> <li>・円換算の意味を理解し、適切な会計処理を習得する。</li> <li>・為替予約の会計処理を習得する。</li> <li>・税効果会計の意味と役割を理解し、会計処理方法を習得する。</li> <li>・財務諸表分析の意味・方法を明らかにする。</li> <li>・連結財務諸表の意味や目的を明らかにし、連結財務諸表の概略を理解する。</li> <li>・連結財務諸表の作成手続きを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外貨建取引がどのような場面で使われるか理解する。(a)</li> <li>・為替差損益の発生理由について説明できるか。(b)</li> <li>・企業会計上の収益・費用と課税所得計算上の益金・損金に興味を持ち、自ら進んでその違いを調べる態度を示しているか。(c)</li> <li>・連結財務諸表とはどのようなものか正しく理解している。</li> <li>・親会社と子会社の意味を正しく理解している。(a)</li> <li>・連結財務諸表がなぜ必要か、説明できるか。(b)</li> </ul>



